

教育長室から

こんにちは。津山市教育委員会教育長の 有本明彦 です。
3年にも及び新型コロナウイルス感染症は、5月から感染症法上の分類が5類に移行されることから、少しずつ以前の日常に戻るものと期待をしています。

住民の皆様におかれましては、日頃から本市の教育行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

社会全体の価値観や子どもたちを取り巻く環境が複雑・多様化する中で、教育も前例にとらわれることなく、時代の変化に柔軟に対応する必要があると考えます。

本年度は、第3期津山市教育振興基本計画の2年目となることから、本市が目指す「**自立**」「**つながり**」「**郷土愛**」の3つの人間像をさらに追求してまいります。

そのためには、住民の皆様や学校長との対話をさらに深めながら、本市の喫緊の課題である「**読解力の育成**」「**多様な学びの保障**」「**郷土愛の醸成**」を重点課題として、具体的な取組を推進してまいります。

一方、地域とともにある学校づくりを目指すコミュニティ・スクールについては、令和6年度の全小中学校での展開を見据え、本年度は新たに15小中学校に導入してまいります。今後も、学校とともに地域が責任をもって子どもたちの教育に積極的に関わっていただく仕組みづくりを進めてまいります。

そして、これらの取り組みを着実に進めることで将来の目標に向かって、前向きに挑戦し、自己決定できる子どもたちをしっかりと育ててまいります。

今後も、本市が目指す教育について、今まで以上に丁寧な説明と様々な媒体を活用し、情報発信に努めてまいります。

住民の皆様には、一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年4月

津山市教育委員会
教育長 有本 明彦



自立

自立して、自己の将来を切り拓き、たくましく生きていけるひと

つながり

広い視野で人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひと

郷土愛

ふるさとを愛し、津山人としての誇りを持って生きていけるひと

津山市が目指す3つの人間像

「自立」 自立して、自己の将来を切り拓き、たくましく生きていける人
「つながり」 広い視野で人や地域とつながり、互いを認め合って生きていける人
「郷土愛」 ふるさとを愛し、津山人としての誇りをもって生きていける人